



札幌市立篠路西中学校

学校だより

# やる気・本気・根気

<http://www.shinoronishi-j.sapporo-c.ed.jp/>

令和8年（2026年）3月13日発行

## 式辞

校長 XXXXXXXXXX

卒業生の皆さんはこの3年間、学習はもちろん学校行事や生徒会活動、部活動、その他さまざまな場面において、校外で素晴らしい成果を挙げ、篠路西中学校の歴史に新たな1ページを書き加えました。創意工夫を凝らし、全力で打ち込むその行動力、1つの事柄に夢中になって取り組んできたその姿勢に対し、称賛の拍手を送りたいと思います。

3年前の4月、当時の鈴木校長先生が君たちの入学式にあたって次の言葉を語っています。

「『自ら考え、みんなで学び合い、問題を解決する力』や『自分たちで、きまりを守り、お互いを尊重し、協力して生活できる力』、『自分の健康管理と体力の向上に取り組む力』を身に付けてほしい」

この願い、覚えているでしょうか。

さらに、「学校は行かされる場所ではなく、自分の将来の生き方を見つけ、自分の未来を掴み取る場所」であること、「自学自習、自主自律を基本」とすること、「知・徳・体のバランスの取れた豊かな人間性を身に付け、道具としてICT機器等のいろいろな機器を使い、人間にしかできないところで活躍」すること、「自らの幸せだけでなく、周りの人の幸せを願い、行動できる人であってほしい」と、気を付けてほしいことや期待することの4点を示していました。

卒業するにあたり、今一度この言葉を振り返ってみましょう。

これから皆さんは、着慣れたジャージや標準服、住み慣れた教室、そして心を交わした友人や先生方に別れを告げ、一人一人が、自分で選んだ道への第一歩を踏み出していくのです。そこでは、自分の頭で考え、自分が判断し、大人としての理性をもって行動しなければならないのです。準備はできていますか。

新しい場所には、新しい人たちが待っています。約束の時間を守る。場に応じた挨拶をきちんとすること。自分だけでなく周囲の人も大切にすること。この3点は、新しい人間関係をスムーズにつくるための、最低の条件でしょう。3年間で身に付けることができたでしょうか。

扉を押し開き、飛び出していくのは君たちです。慌てないよう、焦らないよう、落ち着いて対応できるよう、学級担任の先生をはじめ、多くの先生方が、君たちに力をつけてきてくれました。この3年間で培ってきたその力を試す場が今、目の前に広がろうとしているのです。自信をもって、未来に向かって、大きく羽ばたいていきましょう。君たちならできるはずですよ。

今日、巣立つ147名を含めて、これまでに、約7500名の卒業生が篠路西中学校から旅立ったこととなります。この卒業生は、先輩として多くの素晴らしい足跡を、この学校に残してくれました。よき伝統と校風は、皆さんの後輩たちによって引き継がれ、更に発展されることでしょう。

皆さんが、これまで、学校生活の中で精一杯取り組み、学んできたことに誇りと自信をもつとともに、皆さんを励まし支えてくれた家族をはじめとする、多くの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、新たな生活へと、希望の一步を踏み出してほしいと思います。